

令和3年度第1回松本「シンカ」推進会議 会議録

日時：令和3年6月28日（月）

14時30分～16時00分

場所：議員協議会室＋オンライン

欠席委員 伊藤委員、宮下委員、佐藤委員

1 開会

2 市長あいさつ

3 役員選出

座長 山本委員、座長代理 益山委員

4 座長あいさつ

5 委員紹介

6 事務局紹介

7 議事等

(1) 地方創生の取組みについて

- ・資料中の取組成果（ア）について、国勢調査結果も掲載した方が分かりやすいのではないかと。
- ・IC拠点施設サザンガクがあることで、仕事が生まれるのか
←（事務局）サザンガクの3つの機能のうち、テレワークで企業業務を受託し仕事を作っている。また、サテライトオフィスやコワーキングについても、ベンチャー育成や交流の場として、活用を図っていきたい。
- ・アートでまちなかプロジェクトの中での移住推進をどう行うのか。
←（事務局）クリエイティブ人材を対象として移住セミナーを開催することなどに取り組みたい。
- ・今後の施策展開に当たっては、部署単位での政策立案ではなく、市民の視点で考えてはどうか。市内でも旧市街、新市街、里山、山岳地帯の多様な場があることを含めて考えていく中で、市役所内の部署だけでなく、市民と一緒に取り組めることがあるのではないかと。

自治体の範囲にとらわれずに、周辺市町村を含めた、もっと広域的に考えた上で、松本の取組みを位置付けてはどうか。

- (2) 松本市第11次基本計画（案）について
別紙のとおり

8 閉会

以上

松本市第11次基本計画（案）について

1 基本計画（案）全般に関する意見

No.	項目	意見等の概要
1	基本構想の実現	表現の仕方だと思うが、基本構想2030の基本理念に据えた、「三ガク都」を明確にイメージできるようなところがあるといい。
2	基本構想の実現	アンケートの結果で、中高生が「学都」について知らないという記事があった。 あらゆる場面で使ってもらえるように、もう少し広げていくような取組みが必要ではないか。
3	施策体系	必ずしも施策の数で語れるものではないと思うが、分野6、分野7の施策が少なく、稼ぐ力を高めるための取組みが薄いように感じる。

2 重点戦略に関する意見

No.	項目	意見等の概要
4	重点戦略 ゼロカーボン	ゼロカーボンは、エネルギー燃料の視点だけが色濃く出てしまっている。 地域資源を使い、地域で循環する視点や事業者連携の視点なども重要

3 基本施策に関する意見

No.	項目	意見等の概要
5	1-2 質の高い保育・ 幼児教育の実現	「充実」という言葉が多い。 マイナスをゼロにする感じに止まっており、穴を埋めるだけの ような表現。もっとワクワクするような内容が必要。 特に、保育・幼児環境の充実は もっと内容を広げられるはず。
6	1-8 全ての世代にわ たる食育の推進	食育には、生産者や食材の確保という視点も必要。遊休荒廃地 の増加など、生産が縮小している危機感、現実を子どもたち に見せることも必要では。
7	2-4 個々に寄り添う 障害者福祉の充実	「グループホームの整備を事業所に促す」という表現は、事業 所に整備を丸投げしているように感じる。
8	3-4 働き盛り世代の 移住・定住推進	市内にあるゲストハウスに試泊していただき、より松本の良 さを感じていただく「移住者お試しプラン」など、移住者の不安 を軽減する施策も必要ではないか。
9	4-4 森林の保全・再 生・活用	カラマツ材は今、材として好評であり、利活用の施策は非常に 良い。松本産の呼称を独自に設定するなど、付加価値をつけて ブランディングしてみてもは。
10	5-3 自転車活用先進 都市の実現	サイクルツーリズム等の観点で言うと、安曇野市を始め、広域 連携の視点も必要では。

11	5-10 防災・減災対策の推進	防災・減災対策は、個人や各家庭における取組みが重要。家庭における備蓄や有事の際の連絡手段等、個人宅の安全率を高める取組みも進めて欲しい。
12	6-1 商都松本の再興	商売の手法が大きく変化してきている。クリエイティブ産業とも繋がると思うが、例えば、新たな価値を創出する、「新商都の創造」のような前向き感のある表現にしてみたいかがか。
13	6-5 異業種連携による食産業の振興	有機JASは国内の基準であり、世界基準のGAPを視野にブランディングに取り組んだ方が良い。
14	7-4 変化する時代の観光戦略	デジタルマーケティングは必須。その上で、海外誘客等の視点から、塩尻、安曇野も交えたDMOを推進してほしい。